

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年10月24日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アジュバンコスメジャパン

コード番号 4929 URL http://www.adjuvant.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 豊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 中川 秀男 TEL 078-351-3136

四半期報告書提出予定日 平成26年10月31日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年3月21日～平成26年9月20日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	2,065	△5.6	341	△35.8	349	△35.3	180	△43.2
26年3月期第2四半期	2,187	△3.7	531	△7.4	540	△3.2	317	△2.1

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 183百万円 (△42.1%) 26年3月期第2四半期 316百万円 (△2.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	23.35	22.87
26年3月期第2四半期	42.29	41.19

(注) 当社は、平成25年8月21日付で当社普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。

前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	5,496	4,401	80.1	569.54
26年3月期	5,419	4,387	81.0	567.81

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 4,401百万円 26年3月期 4,387百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	-	-	-	22.00	22.00
27年3月期	-	-	-	-	-
27年3月期(予想)	-	-	-	24.00	24.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年3月21日～平成27年3月20日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,580	0.2	706	△29.5	708	△29.7	332	△41.9	43.01

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	7,727,400株	26年3月期	7,727,400株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	－株	26年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	7,727,400株	26年3月期2Q	7,507,200株

(注) 当社は、平成25年8月21日付で当社普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。

前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数を記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

(注) この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明会資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、平成26年10月27日（月）にアナリスト向け説明会を開催する予定です。

その模様及び説明内容（音声）については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国景気や為替による変動の不安定要因等があるものの企業収益に改善が見られる等、緩やかな景気回復基調で推移いたしました。反面、個人消費の面では、消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要の反動や夏季の天候不順の影響による足踏みがおこり、一部に弱さもみられました。美容業界におきましても、1店舗当たりの顧客数の減少、顧客単価の下落、来店サイクルの長期化等、サロン※注1経営にとって厳しい環境が続きました。

このような状況のもと、当社グループは、引き続き当連結会計年度営業方針を「顧客の創造・顧客の固定化」「カウンセリングの徹底」「知識・技術習得の強化」「年間販促計画（キャンペーン）の活用推進」として掲げ、サロンの安定した経営サポートに取り組みました。

また、A・C・Sサロン※注2登録軒数につきましては、当第2四半期連結会計期間末で6,644軒(前期末比245軒増)となりました。

売上高につきましては、第1四半期に引き続きインターネット不正流通先サロン取引解除、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動、消費マインドの冷え込み、一部商品の品切れ対応により当社営業部員のA・C・Sサロンに対するフォローが十分では無かったこと等が影響し、スキンケア、ヘアケア共に前年同期を下回る結果となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,065百万円（前年同期比5.6%減）となりました。利益面では、上記理由による売上高の減収及び連結子会社設立等により販管費が増加した結果、営業利益341百万円（前年同期比35.8%減）、経常利益349百万円（前年同期比35.3%減）、四半期純利益180百万円（前年同期比43.2%減）となりました。

区分別売上高は、売上割戻金を含めて次のとおりであります。

区分	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		増減額	増減率
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	（%）
スキンケア	988	45.2	808	39.1	△179	△18.2
ヘアケア	1,283	58.7	1,191	57.7	△91	△7.1
その他	69	3.1	196	9.5	127	184.1
売上割戻金	△153	△7.0	△131	△6.3	22	—
合計	2,187	100.0	2,065	100.0	△122	△5.6

(注) 1. イノベーション・アカデミー株式会社（連結子会社）、ADJUVANT HONG KONG COMPANY LIMITED（連結子会社）の売上高は、金額が僅少であるため、その他に含んでおります。

2. 売上割戻金は、商品ごとではなく売上高の合計を基準として割戻率を設定しているため、区分ごとに配賦せず合計額で表示しております。

当社グループは、単一セグメントであるためセグメント別の記載はしていませんが、区分別売上高の概要は以下のとおりであります。

(スキンケア)

スキンケア商品の売上高は、インターネット不正流通先サロン取引解除、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動、消費マインドの冷え込み、一部商品の品切れ対応によるA・C・Sサロンへのフォロー不足に加え、当第2四半期の新規愛用者の獲得を目的としたキャンペーン企画が低調に推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は808百万円（前年同期比18.2%減）となりました。

(ヘアケア)

ヘアケア商品の売上高は、上述のインターネット不正流通先サロン取引解除、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動、消費マインドの冷え込み、一部商品の品切れ対応によるA・C・Sサロンへのフォロー不足等により前年同期を下回る結果となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,191百万円（前年同期比7.1%減）となりました。

(その他)

MAPシステム※注3におきましては、導入後のサロンフォローや導入見込サロンを対象とした説明会等を引き続き全国各地で行った結果、当第2四半期連結会計期間末における契約件数は234件（前期末比28件増）となりました。

また、6月に新発売したボディシリーズFOG SUI（フォグスイ）は当第2四半期も好調に推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は196百万円（前年同期比184.1%増）となりました。

※注1「サロン」

美容室、理容室、エステティックサロンを指します。

※注2「A・C・Sサロン」

初回に100千円以上の仕入を行い、当社グループが指導する商品の案内方法等を定めたA・C・S加盟規約を遵守することを確約したサロンを指します。

※注3「MAPシステム」

サロンの顧客管理、経営分析のために提供しているクラウド型経営サポートシステムを指します。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して76百万円増加し、5,496百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して36百万円増加の3,499百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金の減少62百万円、売掛金の減少109百万円、余資の運用による有価証券の減少99百万円、商品及び製品の増加257百万円、前払費用の増加33百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して40百万円増加の1,996百万円となりました。主な変動要因は、国内子会社の内装工事による建物及び構築物の増加19百万円、資本業務提携契約の締結等に伴う投資有価証券の増加49百万円によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して58百万円増加の699百万円となりました。主な変動要因は、買掛金の増加150百万円、未払法人税等の減少62百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して4百万円増加の395百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末と比較して13百万円増加の4,401百万円となりました。主な変動要因は、利益剰余金の増加10百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、営業活動で獲得した資金を、有形固定資産・投資有価証券の購入、配当金の支払等で使用した結果、前連結会計年度末に比べて86百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には2,013百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は84百万円（前年同期比53.9%減）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益347百万円の計上、売上債権の減少額109百万円、仕入債務の増加額150百万円による資金の増加が、たな卸資産の増加額255百万円及び法人税等の支払額250百万円による減少を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は0百万円（前年同期支出超過176百万円）となりました。これは主に余資の運用による有価証券の償還による収入100百万円、定期預金の払戻による収入50百万円、国内子会社の内装工事による有形固定資産の取得による支出21百万円、投資有価証券の取得による支出40百万円、定期預金の預入による支出74百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は176百万円（前年同期比80.9%減）となりました。これは主に配当金の支払額169百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の通期の連結業績予想につきましては、第2四半期の業績を踏まえ平成26年4月24日に公表しました業績予想を変更しています。詳細につきましては、本日公表の「平成27年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,380,470	2,317,942
売掛金	511,446	402,433
有価証券	99,430	—
商品及び製品	309,865	567,405
原材料及び貯蔵品	32,859	30,504
その他	136,769	188,439
貸倒引当金	△7,660	△7,196
流動資産合計	3,463,180	3,499,529
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	745,541	764,804
その他	589,296	552,622
減価償却累計額	△296,389	△293,639
有形固定資産合計	1,038,449	1,023,788
無形固定資産		
その他	58,012	51,147
投資その他の資産		
その他	860,113	921,797
貸倒引当金	△79	—
投資その他の資産合計	860,033	921,797
固定資産合計	1,956,495	1,996,734
資産合計	5,419,676	5,496,263
負債の部		
流動負債		
買掛金	72,483	222,534
未払法人税等	239,521	177,417
賞与引当金	80,430	88,428
その他	248,103	211,074
流動負債合計	640,538	699,455
固定負債		
退職給付引当金	31,644	33,085
役員退職慰労引当金	311,000	319,999
資産除去債務	25,111	25,214
その他	23,656	17,467
固定負債合計	391,412	395,768
負債合計	1,031,950	1,095,223

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	704,588	704,588
資本剰余金	664,519	664,519
利益剰余金	3,015,917	3,026,354
株主資本合計	4,385,025	4,395,462
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△63	5,214
為替換算調整勘定	2,763	363
その他の包括利益累計額合計	2,700	5,578
純資産合計	4,387,725	4,401,040
負債純資産合計	5,419,676	5,496,263

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月21日 至平成25年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月21日 至平成26年9月20日)
売上高	2,187,781	2,065,705
売上原価	749,094	735,360
売上総利益	1,438,687	1,330,344
販売費及び一般管理費	907,152	988,933
営業利益	531,535	341,411
営業外収益		
受取利息	154	1,946
受取配当金	50	88
保険解約返戻金	20,232	985
為替差益	3,534	5,083
雑収入	2,461	485
営業外収益合計	26,432	8,589
営業外費用		
支払利息	2,041	—
借入金繰上返済費用	9,118	—
支払手数料	4,000	—
保険解約損	—	240
雑損失	2,424	5
営業外費用合計	17,584	245
経常利益	540,383	349,754
特別損失		
固定資産除却損	492	9
リース解約損	4,221	1,864
特別損失合計	4,714	1,874
税金等調整前四半期純利益	535,669	347,880
法人税、住民税及び事業税	198,202	191,267
法人税等調整額	20,012	△23,826
法人税等合計	218,215	167,441
少数株主損益調整前四半期純利益	317,453	180,439
四半期純利益	317,453	180,439

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月21日 至 平成25年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月21日 至 平成26年9月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	317,453	180,439
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△737	5,277
為替換算調整勘定	—	△2,399
その他の包括利益合計	△737	2,878
四半期包括利益	316,716	183,317
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	316,716	183,317
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月21日 至平成25年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月21日 至平成26年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	535,669	347,880
減価償却費	39,837	42,839
貸倒引当金の増減額(△は減少)	456	△543
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,263	7,998
退職給付引当金の増減額(△は減少)	191	1,440
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	9,999	8,999
受取利息及び受取配当金	△204	△2,034
支払利息	2,041	—
為替差損益(△は益)	△3,193	△5,995
保険解約返戻金	△20,232	△985
借入金繰上返済費用	9,118	—
支払手数料	4,000	—
固定資産除却損	492	9
リース解約損	4,221	1,864
売上債権の増減額(△は増加)	△58,532	109,012
たな卸資産の増減額(△は増加)	△43,627	△255,184
仕入債務の増減額(△は減少)	91,594	150,051
その他	△59,727	△70,864
小計	513,369	334,489
利息及び配当金の受取額	247	944
利息の支払額	△2,096	—
法人税等の支払額	△328,098	△250,850
営業活動によるキャッシュ・フロー	183,422	84,583
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	—	100,000
有形固定資産の取得による支出	△25,986	△21,385
無形固定資産の取得による支出	△11,301	△3,347
投資有価証券の取得による支出	△172,342	△40,540
定期預金の預入による支出	△24,060	△74,052
定期預金の払戻による収入	—	50,000
保険積立金の積立による支出	△15,238	△15,490
保険積立金の解約による収入	73,541	4,584
その他	△1,443	454
投資活動によるキャッシュ・フロー	△176,830	223
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△753,298	—
リース債務の返済による支出	△8,323	△6,759
配当金の支払額	△149,404	△169,474
その他	△13,118	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△924,144	△176,234
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,139	4,848
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△914,413	△86,579
現金及び現金同等物の期首残高	2,455,003	2,099,805
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,540,590	2,013,225

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年3月21日 至 平成25年9月20日)

当社グループは、アジュバン化粧品の商品企画、研究開発、販売及びこれに附帯するサービス業務を営む単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月21日 至 平成26年9月20日)

当社グループは、アジュバン化粧品の商品企画、研究開発、販売及びこれに附帯するサービス業務を営む単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。